

キナ渡来伝説の戯曲、ホセ・マリア・ペマン「聖なる副王妃」

泉 彪之助

介護老人保健施設 陽翠の里

著者は先に、ヨーロッパへのキナ樹皮の渡来にスペインのチンチョン伯爵夫人が寄与したという説があることを報告した⁽¹⁾⁽²⁾が、その中でこの伝説を題材とした戯曲「聖なる副王妃 (La Santa Virreina)」⁽³⁾があることをのべた。日本ではまだこの戯曲が翻訳されていないと思うので、概要を紹介したい。

一 戯曲の成立過程

解説によれば⁽³⁾、この戯曲の作者ホセ・マリア・ペマンは、「キナ渡来にチンチョン伯爵夫人とインディオのスマが関与したとの伝説をめぐって戯曲を」という、ある製薬会社からの示唆を受けて執筆を決意した。作者は、キナ伝説の文献とロペ・デ・ベガ (セルバンテスと同時代のスペインの国民的劇作家。新世界を題材にした戯曲や詩を数編著している) の作品を研究して、この戯曲を完成した。

この戯曲は、一九三九年六月一六日、マリョルカ島バルマの劇場で初演。その後、バルセロナ、マドリッド等で

上演された。

原題「La Santa Virreina」の *santa* は *santo*（神聖な）の女性形、*virreina* は、*reina*（女王、王妃）に英語の *vice* と同じ意味の *vir*（副の）がついたものである。スペインでは女性にも貴族称号が与えられるが、副王は職名で女性が任命されることはなく、*Virreina* は副王 *Virrey* の配偶者である。以前「聖なる副王夫人」と訳したが、副王夫人は副王妃よりも一段低い身分の女性を意味することもあるので、「聖なる副王妃」と訂正した。

二、「聖なる副王妃」梗概（全七幕）

チンチョン伯爵夫人ドニャ・フランシスカ・エンリケス・デ・リベラ（Doña Francisca Henriques de Libera）は、夫が副王に任命されたベルーに同行したいと望むが、政庁からは許可が出なかった。伯爵夫人は、男装して夫と一緒にベルー行きの船に乗り込み、夫もこれを黙認する。

インディオの部族長ヒメオの娘スマは、少女のような一七歳の女性だが、夫を戦争で亡くし、子供が一人いる未亡人である。スマの美貌に魅せられたスペイン人の地主ドン・ホアン・デ・ウルタードは、スマを無理に連れて行くこうとするが、スマは抵抗する。狩猟にきていた副王妃（チンチョン伯爵夫人）はスマを助け、宮廷へ連れて行く。宮廷に行く前、インディオの占い師カオスはスマに、「キナは熱病を治すインディオの秘薬だ。命をかけても秘密を守れ」と誓わせる。

副王妃はスマを自分の子供のように可愛がるが、侍女たちは何かにつけてスマをいびる。その間に、副王妃が熱病にかかっていることがわかる。スマは副王妃にキナを飲ませたいと思うが、いろいろな妨げがあつてできない。副王妃は死を覚悟し、「元気のあるうちに」と秘蹟を受ける。スマは、自分が身代わりになれたらと泣く。

スマは自分が熱病にかかったといつて、父親とカオスにキナを持ってきてもらう。それを副王妃にこっそり飲ま

せようとするが、副王妃を毒殺しようとしたと嫌疑をかけられ、裁判に連れていかれる。副王妃はスマの無実を信じて申し開きをするようにすすめるが、スマは弁解しない。

裁判にかけられたスマが火刑を宣告されようとする瞬間、病をおして現れた副王妃は「スマは無実」といい、自分でキナを飲んでみせる。迷っていたヒメオは、「スマが副王妃に飲ませようとしたのは、熱病を治すインディオの秘薬」と明かす。

スマは釈放され、スマを連れて民衆の先頭にたった副王妃は、一同と一緒に主の祈りを唱えながら聖堂に向かう。その声を聞きながら、幕が下りる。

シンコーナの研究者などで、戯曲のもっと詳しい内容を知りたいと思う方は、登場人物と各幕の内容をまとめてあるので申し越されたい。

三. この戯曲について

作者の心象が結実した文学作品を史実と比較することは、あまり意味のないことであろう。この作品も、史実と文学的虚構とが混在している。この戯曲全体を史実とすることはできないが、キナ伝説を文学作品にあらわしたという点では価値があろう。

この戯曲が、現在どのように評価されているかは分からない。解説には、初演当時は「スペイン市民戦争終結後の愛国的な雰囲気の中で熱烈に歓迎された」と書かれているが、この作品が発表されたのはフランコ独裁下の暗い時代で、割り引いて考える必要があるだろう。作者は保守的な傾向の作家で、こうした点も注意すべきことと思われる。

チンチョンには戯曲と同じ名前のレストランがあるらしく、チンチョンの土地の人には、いわば町おこしの種となっているであろう。

戯曲全体にやや冗漫な感じがあり、作品として成功作とはいえないかも知れない。ただこの作品は、演劇的詩(Poema dramático)という副題の通り、せりふが韻を踏んでいて言葉が美しい。そのことは強調したい。

参考文献

- (1) 泉 彪之助「キナ伝説の里、チンチョンとチンチョン伯爵夫人」、『日本医史学雑誌』四二巻四号、一九九六
- (2) 泉 彪之助「キナ樹皮渡来の伝説をめぐって、チンチョン伯爵夫人説とイエズス会説」、『日本医史学雑誌』四三巻一号、一九九七
- (3) María, José Pemán: *La Santa Virreina, in María, José Pemán: El Divino Impaciente/Cisneros/La Santa Virreina, Ediciones Palabra, Madrid, 1995*